

広報しなの

Shinano Town Public Relations Magazine

題字：小林一茶
【おらが春】より



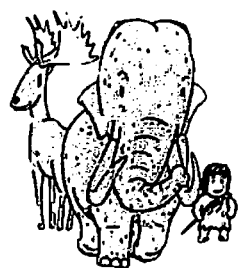
みんなが交通安全

5月26日、柏原保育園の交通安全教育が行われました。園児は、お母さんやお父さんと一緒に交通ルールを学びました。(関連記事は本誌11ページ)

June
2013
No.331

6

博物館のページ



野尻湖
ナウマンゾウ博物館

アオサギに会いました！ 春の野尻湖自然観察会

ソウの小径を歩こう！

5月3日



カタクリは元気にさいっていました

少し肌寒かったです。春の野尻湖自然観察会を行いました。参加者は12名で、まずカタクリの群生地を観察しました。4月下旬は寒い日が続きましたが、見事に咲きそろっている花を観察することができました。群生地ははやめに花が咲き始めたせいか、咲き終わっているもの多かったです。



ゾウの小径を歩きました

す。ミヤマエンレイソウもいっしょに咲いていました。また、アオサギのコロニーは今年も多くが確認できました。が、数は減っています。カワウの営巣は3つ確認しましたが、雪解けは早かったのですが、4月中旬から下旬にかけて寒い日が続いたため、生物の活動は例年より2週間ほど遅いようです。有意



何の動物の痕跡かな

義な観察会となりました。○ぞうのぞうと、とりを見つけた。信濃小中学校2年 保田湛友人 ○はじめて、ねずみの食べたくるみを見られて、うれしかったです。信濃小中学校3年 小黒宏野 ○花や鳥を見たり、野尻湖を見ながらナウマンゾウの話



ナウマンゾウのモニュメントがおどむかえ

を聞いたりしながら、のんびり歩きました。とても楽しい時間でした。ありがとうございました。柏原 小黒恵子 ○象の小径は私たち夫婦がとても気に入っているハイキングコースなので思い立つと訪れ頻繁に楽しんでいました。でも今回のようにこれほどゆつくり時間をかけ、草木や小動物の痕跡、小鳥の姿やさえずりなどの説明を受けながら観察して楽しんだことはありません。特に私有地として普段は入れないY.M.C.A.の敷地奥にあるアオサギ・カワウのコロニーを間近で見られたのは思いがけず、ナウマンゾウ博物館企画の自然観察会だからこそ感謝しています。後半太古以来の野尻湖周辺の地形の変化や古代生物の発掘研究成果の説明には特に熱が入っていると感じました。天候にも恵まれ、芽吹き前の林越しに美しい湖面や雪を被った山々を堪能した一日。ありがとうございました。信濃町 N

の野鳥を観察することができました。観察できた野鳥は、ウグイス、アオジ、カルガモ、ハシボソガラス、ニュウナイスズメ、ゴジュウカラ、ヤマガラ、ヒガラ、アカゲラ、ミソサザイ、ノスリ、コゲラ、コガモの13種類です。普段何気



鳴いている鳥はみえるかな



ゴジュウカラを発見

信濃町野鳥を見る会

戸隠植物園

4月28日

4月の終わりは、寒い日が続きましたが、この日は天候にも恵まれて、暖かな一日になりました。戸隠植物園にて、野鳥観察会を行いました。参加者は14名。日本野鳥の会の小関保夫さんにご案内いただきました。朝のうちはやや肌寒く、野鳥もあまり見られませんでした。ただ、いに暖かくなるにつれ、野鳥の音が聞こえるようになり、ウグイスの鳴き声を聞きながら、たくさん野鳥を観察することができました。深く知ることもできた観察会になりました。

連休中にミニ講座が開かれました

5月の連休には、3回にわたってミニ講座を開催しました。5月4日と5日は、アジアゾウの骨をしらべよう、6日は石器づくりを行いました。「アジアゾウの骨を調べよう」では、本物のアジアゾウの骨をつかって、ゾウの骨の仕組みや形の違いなどを、実際の骨を触ったり、持ってみたりして、体験しながら学習しました。体験した小学生は、「ゾウの骨ってとても重いことがよくわかりました」と感想を述べていました。



骨っておもしろい



これはどの骨かな



本物のゾウの骨にさわりました



これがゾウの首の骨

早稲田大学で湖沼調査法の実習がおこなわれました

野尻湖の湖底調査やボーリングの地質調査などを実習するために、4月30日から5月2日まで、早稲田大学の湖沼調査法実習が野尻湖と野尻湖ナウマンゾウ博物館で行われました。野尻湖では、底質調査をおこない、野尻湖の底にある堆積物を採集しました。また、昨年(2012年)の11月に池尻川低地(西たんぼ)でおこなった地質



野尻湖の湖底の堆積物を調査しました

のボーリング調査の試料を観察し、記載しながら、試料のサンプルを行いました。これはとても根気のいる作業です。ボーリング試料は1mごとに写真をとって、どこにどのような堆積物があるかときちんと記録をとります。そのあとで5cmごとに試料をサンプル袋に入れていきます。この調査結果がまとまるのはまだ時間がかかりますが、野尻湖や西たんぼがどのようにできたのかを明らかにする貴重な資料になると思います。



池尻川低地の地質を調べました

長野の大地のセミナー —信濃町のナウマンゾウの 歩いた痕跡をさぐる—

最近、野尻湖の大崎でナウマンゾウ化石が新たに発見されました。信濃町では野尻以外にも多くのナウマンゾウ化石が見つかっています。仲町や黒姫駅、明専寺などからもナウマンゾウが見つかっています。このような場所をめぐり、ナウマンゾウの歩いた跡を見学します。また、ゾウの骨についても学習も行います。

日時 2013年6月22日(土) 午前10時～午後3時

集合場所 野尻湖ナウマンゾウ博物館まえ

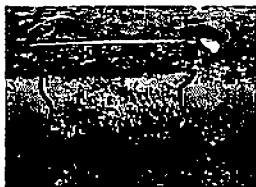
参加費 500円(保険料・資料代など)

持ち物 お弁当、筆記用具、雨具

服装 沢に入りますので、長靴でおいでください。

申し込み 6月21日までに野尻湖ナウマンゾウ博物館まで申し込んでください。

主催 地学団体研究会長野支部
野尻湖ナウマンゾウ博物館



野尻湖
大崎で見つかった
足跡状のくぼみ

苗名滝探検

—信濃路遊歩道を歩く—

スキー場から苗名滝(地震滝)までを歩きます。黒姫に咲いている花や野鳥などをみながら歩きましょう。あなたも自然観察ハイキングに出かけませんか。歩くのはおよそ7kmくらいです。ほとんどはなだらかな林道ですが、滝におりる道は急な坂道ですので、くつは滑りにくいハイキング用の靴がいいでしょう。帰りは苗名滝から黒姫スキー場まで車で戻ります。

とき 2013年6月15日(土)

ところ 黒姫スキー場から苗名滝まで

集合 午前9時 黒姫スキー場コスモプラザ前

解散 午後3時ころの予定 黒姫スキー場コスモプラザ前

もちもの リュックサック、ノート、筆記用具、タオル、お弁当、水筒、雨具、持っている人は、双眼鏡やループがあると便利です。

服装 汚れてもよいハイキングの服装。

費用 100円(資料代+保険代)

人数 20名(定員になり次第しめきります)

申し込み 6月14日までに野尻湖ナウマンゾウ博物館(電話026-258-2090)まで申し込んでください。小学校低学年の方は必ず大人の人と一緒に参加してください。

雨天の場合は中止します。やるかどうかわからない場合は、当日朝8時頃に野尻湖ナウマンゾウ博物館にお問い合わせください。